

平成29年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【沢尻地域集会施設】中沢・沢尻・宮前自治会 参加者数：12名

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	町民の意見を聞く協働のまちづくりに向けたスキーム（情報共有・参画）をしっかりと検討してほしい。 その上で町の中長期の財政推計をしっかりとやってほしい。	政策推進課	情報共有については、協働のまちづくりを掲げた自治基本条例の原則に基づき取り組んでまいります。 また、財政は平成31年度からスタートを予定している（仮称）第6次総合計画や公共施設マネジメントを含めて推計していきます。
2	新松田駅南口から沢尻ガード下までの歩道整備の着工時期と工期はどうなっているか。	まちづくり課	近隣住民及び地権者の皆様方のご協力により、平成30年3月に工事を完成しました。
3	子どもの館の今後をどう考えるか？松田の子供は殆ど来ないので、アクセスに工夫をしてほしい。 子どもの文化に力を入れてほしい。	観光経済課	子どもの館の事業は、土・日に大人と一緒に参加できる講座等を企画し、松田の子どもが参加ができるよう計画してまいります。 また、子どもの館の事業を旧松田土木事務所で展開することについても庁内で調査・研究していきます。
4	河南沢上流の中央農道の開発業者は一度、お披露目した以降の動向が無いがどうなっているのか。	観光経済課	今後の動向に注視しながら、違法性が確認された場合は、庁内関係各課や県と調整しながら対応してまいります。
5	町文化財ツアーに出席したいが、コース設定（距離を含めて）が高齢者には厳しいと感じている。	教育課	文化財ウォークは、町の歴史的な財産などを歩きながら紹介する事業として、年1回程度開催しています。 昨年度は、11月25日（土）に松田庶子地区を中心に約2kmの平坦な地形をゆっくり休みながら歩きました。また、寄地区についても約6kmを1日かけて歩きました。いずれも参加した方からは、「もう少し歩きたかった」などの感想が多数ございました。 今年度の文化財ウォークは、11月17日（土）に矢倉沢往還をコースとして予定しております。 なお、ご要望の趣旨を踏まえ、参加ができなくても、参加者に配付した資料などを提供できるようにしました。また、今後は、様々なニーズに対応できるようウォーキングコースの設定についてもご要望を参考とし検討させていただきます。